

2023年度 日本工学院専門学校											
建築設計科											
基礎デザイン											
対象	1 年次	開講期	前期	区分	必修	種別	実習	時間数	30	単位	1
担当教員	大澤 公仁			実務経験	有	職種	建築設計／一級建築士				
担当教員紹介											
構造設計事務所にて海外での建設現場における構造設計を担当し、その後は不動産会社において住宅の設計・改修工事に従事した経験を持つ。伝統工法を用いた住宅設計を専門としている。											
授業概要											
建築製図 1（5週）・基礎デザイン（5週）・ものづくり実習 1（5週）をクラスごとのローテーションで実施。自らの手で1本の線を引くところから、すべての造形活動、創作活動がスタートすることを学ぶ。各課題の体験の積み重ねにより、造形分野で必要となる図画力、形態操作に対する観察力と考察力等のものづくりの基盤を養う。											
到達目標											
次の3点を到達目標とする。 ①模型製作道具の使い方の基本を習得する ②平面構成の基礎を理解し表現できる ③立体構成の基礎を理解し表現できる											
授業方法											
毎授業ごとのシラバスの内容に従い授業を進捗する。担当講師から説明される各回ごとに取り組む作業内容をしっかりと把握し、各自作業を進める。											
成績評価方法											
提出物、授業態度、平常点、などを総合的に判断する。											
履修上の注意											
出席は自己管理して出席不足にならないようにすること。授業時数の4分の3以上出席しない者は単位を認定しない。日本工学院授業心得（学生用）を守ること。											
教科書教材											
毎回資料を配布する。参考書・参考資料等は授業中に指示する。											
回数	授業計画										
第1回	（ものづくり実習 1 ①）										
第2回	（ものづくり実習 1 ②）										
第3回	（ものづくり実習 1 ③）										
第4回	（ものづくり実習 1 ④）										
第5回	（ものづくり実習 1 ⑤）										

2023年度 日本工学院専門学校	
建築設計科	
基礎デザイン	
第6回	(建築製図 1 ①)
第7回	(建築製図 1 ②)
第8回	(建築製図 1 ③)
第9回	(建築製図 1 ④)
第10回	(建築製図 1 ⑤)
第11回	ガイダンス (授業内容の概要、成績評価の方法等を説明する) 課題①平面構成の製作を通して全体と部分を理解する。 課題②紙を使った表現を通して、モノの構造や形態の可能性について理解する。
第12回	課題③単純な立体模型の製作 課題④複雑な立体模型の製作
第13回	課題⑤平面構成課題 (多層的な表現)
第14回	課題⑨立体構成課題 (キャンティレバー)
第15回	課題⑨立体構成課題 (3次曲面)